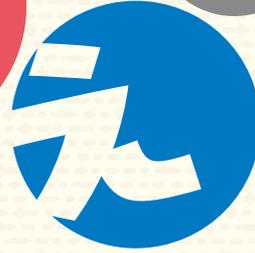




伝える



つなげる



No. 406



ひびきあう



今月の表紙写真は県社協職員が訪れた御浜町「日本一長い砂礫海岸である七里御浜海岸」の様子をお届けします。

テーマは
「旅行先の景色や思い出」

三重県内の風景や美味しいもの、
おすすめスポットなどを
ぜひ、おすす分けください！

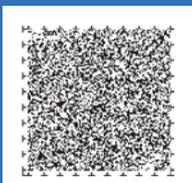
写真の投稿はこちらから >>>

あなたの写真が世界への冒険を共有し、
福祉の魅力を広める一役を担うかもしれません！

contents

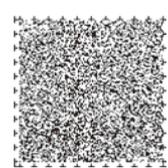
- 特集：令和6年度 三重県社会福祉協議会 事業報告・決算の概要 … 2
- 令和6年度 三重県社会福祉事業職員共済会事業報告 …… 5
- 連載：福祉レストラン …… 6
- ありがとうメッセージ …… 8

福祉みえでは、2～4ページの
特集記事に uni-voice による
音声コードを導入しています。



Uni-Voice音声コード

ふれあいネットワーク



令和6年度三重県社会福祉協議会の事業を、本会の中長期計画である地域福祉活動支援計画・強化発展計画「新ウェルビーイングみえプラン」に則り、基本目標ごとの主な事業について報告します。

基本目標 1

地域共生の基盤づくり

推進項目

① 支え合う地域づくりの支援

事業評価

市町社協の機能強化の推進事業では、市町社協の活動について現況調査を行うとともに、市町社協の財務状況について分析を行い、その結果をもとに市町社協の機能強化を目的とした支援を行いました。

企業や個人からの寄付等を子ども居場所につながるマッチング事業では、昨年度に比べ、マッチング支援事業の支援が増え、多くの団体と企業のマッチングが成立しました。

今後の課題

市町社協への支援では、地域における包括的な支援体制の構築にむけて、現在の受託事業をベースにしなが、新たな展開を進めていけるように、委託元と調整していく必要があります。

② 多様な主体との協働

事業評価

みえ福祉の「わ」創造事業にて、生活困窮者支援緊急食糧提供事業をはじめとする具体的な支援事業は、利用件数が高止まりしており、他の制度では対象とならないニーズにしっかりと対応する仕組みとして機能しています。

ボランティアコーディネーション研修事業では、過去のアンケートにあった参加者の意見を研修内容に反映し、周知範囲を拡大したことで、幅広い層に参加いただき、所属先の枠を超えた交流の場となりました。

今後の課題

みえ福祉の「わ」創造事業では、基金残高が十分ではない状況が続

ています。安定的な運営のためには、各種別協議会等との連携をこれまで以上に強化し、広がりのある周知・啓発活動を進めていくとともに、持続可能な財政運営の在り方や、地域課題に心じた柔軟な支援体制の構築について検討する必要があります。

③ 総合的な相談支援機能の強化

事業評価

生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金等貸付事業において、特例貸付のフォローアップの取り組みを強化するため、市町社協や三重県生活相談支援センターと協力して、アウトリーチ支援事業に取り組みました。

今後の課題

コロナ特例緊急小口資金において、当初の想定よりは償還完了者が増加しましたが、現時点で残っている借受人については依然として生活課題を抱えていると見ることができ、引き続きフォローアップを強化していく必要があります。

基本目標2

持続可能な社会福祉の仕組みづくり

推進項目

① 福祉人材の確保・就労支援

事業評価

三重県福祉人材センターでは合同就職説明会をはじめ就職イベントを実施することで、福祉業界への就職を後押ししました。

職場体験事業では、新たに1日の「こころみコース」を新設しました。その結果、一般参加者の半数以上が

「こころみコース」の参加者となり、

福祉職場への就職に繋がる有効な機会とすることができました。

介護員養成研修資格取得支援事業では、参加対象者や開催方法を見直した結果、受講者数が昨年度より増加しました。

今後の課題

公共職業安定所や事業所とより効果的に連携できるように、連携内容をブラッシュアップするよう努め、福祉職場の広報・周知を行うにつれ、マッチング支援数（就職者数）を増加させる必要があります。

② 福祉人材の定着支援と育成

事業評価

キャリアパス対応生涯研修事業では、特に、グループワークの満足度が高く、受講生同士の多職種交流の役割も果たしています。また、新たに年度途中の新規採用者にも対応するため、初任者コースを夏期と冬期に分け開催しました。

今後の課題

キャリアパス対応生涯研修では、県内の社会福祉法人に向けた研修受講の有効性の周知が課題となっており、周知方法等を検討する必要があります。

また、研修企画にあたっては、アンケート等により福祉現場における研修ニーズを把握するとともに、オンライン研修の普及等について検討していく必要があります。

③ 質の高い福祉サービスに向けた支援

事業評価

三重県社会福祉法人経営者協議会と行う研修事業では、引き続き動画配信を取り入れ、多くの方に参加・視聴いただけるよう実施しました。地域密着型サービス外部評価事業は、受審申込みを2回に分けて行うことで、昨年度より多くの申込みがありました。また、事業所アンケートでは、調査員が丁寧で大変よかつ

た等の意見を多数いただきました。

今後の課題

社会福祉法人の経営に必要な基礎的な研修に加え、変化する社会情勢や制度改正に応じた研修などを行うため、引き続き情報を得ていく必要があります。

基本目標3

災害時に備えた支援活動の充実

① 災害時に備えたネットワーク

の構築・基盤強化

事業評価

能登半島地震に伴い、三重県災害派遣福祉チーム（DWAAT）が初めて派遣されDWAAT登録員の養成研修は60名を超えました。また、活動の振り返り会や訓



Uni-Voice音声コード

練を通して、実際に支援に追加された登録員からの活動報告や参加者同士の情報交換などの交流を図ることができ、登録員全体の意識が向上しました。

○市町社協、福祉施設・事業所における災害対応強化の支援

災害ボランティアセンター運営設置訓練では、多数の市町社協から協力依頼があり、複数の職員で参画することで支援・連携体制の強化を図ることができました。

また、ITを活用した災害ボランティアセンター運営支援のモデル事業では、モデル実施社協からの報告を取りまとめたうえで、県内全市町を対象にした体験会を企画・実施しました。

今後の課題

三重県DWAATでは、資質向上研修や県の総合防災

訓練などの実地訓練を通してさらなるスキルアップ、体制整備に取り組みることが重要であるため、引き続き情報発信、働きかけを続けていく必要があります。

市町社協、福祉施設・事業所における災害対応強化の支援では、ICT活用の有効性について一定の理解は得られたものの、平時からの継続的な活用には至っておらず、ツールの操作や運用に不安を抱える職員も少なくない状況が見受けられました。

災害時の運用を想定した職員の実践的なスキルの習得や、ICTを活用した訓練の場の確保も課題であり、県域全体でのスムーズな情報連携・共有体制を構築するためには、平時からの運用定着に向けた働きかけが求められます。

令和6年度 決算の概要

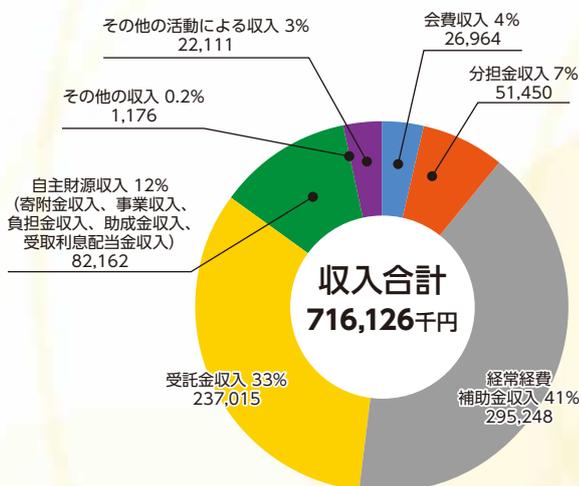
法人単位資金収支計算書（一部抜粋）

本会財政は、会費収入、関係団体からの分担金収入、県補助金収入、県受託金収入、全社協からの負担金収入、研修会等参加費収入からの繰入金収入が主となっています。

令和6年度の一般会計決算は、収入の合計が約7億1千6百万円、支出合計が約7億2千7百万円で、当期資金収支差額合計はマイナス約1千百万円となりました。

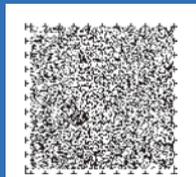
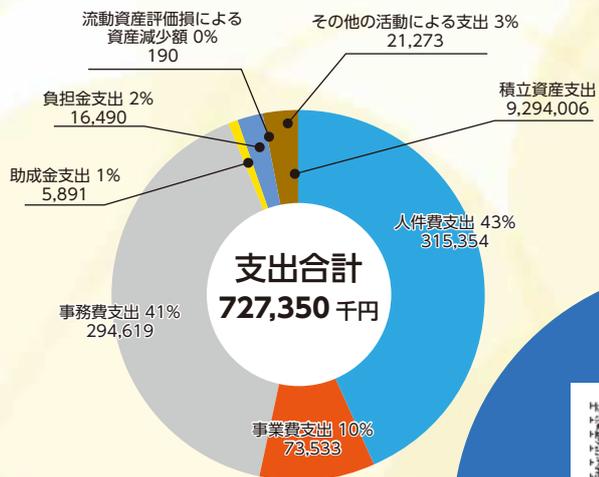
収入

(単位：千円)



支出

(単位：千円)



Uni-Voice音声コード

一財) 三重県社会福祉事業職員共済会は、県内の民間社会福祉事業に従事する職員の皆さんが安心して働くことができるよう、退職手当金や見舞金の給付を行っています。

また、会員の皆さんの福利厚生充実を図るため、福利厚生センターの各種事業を実施しています。

退職手当金等給付事業

令和6年度 会員異動状況

入会者数： 1,910名

退会者数： 1,697名

総会員数： 15,067名 (令和7年3月31日現在)

※総会員数には事務手続き上、反映されていない退職者を含みます。

退職給付金支給件数/金額

普通退職	1,059件	1,076,183,862円
死亡退職	5件	6,268,444円
返還金	601件	30,680,769円
返還金(契約解除等)	112件	112,766,777円
合計	1,777件	1,225,899,852円

見舞金等の給付件数/金額

死亡弔慰金	5件	250,000円
災害見舞金	1件	30,000円
合計	6件	280,000円

福利厚生センター(ソウェルクラブ)事業

福利厚生センター加入状況(令和6年10月1日現在)

125法人 / 6,928名

1 会員交流事業

概ね計画どおりに実施しました。

- 交流イベント 計9企画で実施しました。うち7企画で、定員超過の申込みがあり、抽選にて参加者を決定しました。
- チケット頒布 県内および近隣県(愛知県)を中心に18企画を実施しました。うち1企画が台風等の影響により中止となりました。

2 地方委託講習会

東海北陸ブロックの会員を対象にレクリエーションや広報等のテーマで講習会を実施しています。令和6年度は(株)ひとまち 奥西春美氏に講師を依頼し、「福祉職場の職員のためのホワイトボードミーティング®入門編」と題した講習会を実施しました。【参加者13名(うち県内10名、県外3名)】

財産目録

科 目		金 額	科 目		金 額	
資産の部	流動資産	預 金	458,912,475円	流動負債	前受金	0円
		未 収 金	174,978,324円		未払金	1,451,781円
	固定資産	基本財産	3,000,000円	固定負債	引当金	15,990,537,617円
		退職者管理システム等	22,277,072円		負債合計	15,991,989,398円
		信託財産	15,335,821,527円	差引正味財産	3,000,000円	
資産合計		15,994,989,398円				

財産状況

1 退職手当金必要額(令和7年3月末現在)

要退職給付総額：15,244百万円 総資産額：15,995百万円

税引後資産額：15,995百万円 充足率：104.9%

2 退職手当積立金(令和6年3月末現在)

支払備金+数理債務：17,194百万円 退職給付引当金：16,036百万円 積立率：93.3%

※令和6年度の積立率は、決算額を基に算定するため令和7年10月頃に確定します。



連載
第5回

福祉レストラン

三重県では、障がい者就労支援の一環として、さまざまな障がいのある人が自分らしい働き方を選択し、その適性に応じて能力を十分発揮することが出来るような取組をされているカフェやレストランがあります。本誌では、そんな取組をされているお店にお邪魔し、連載企画としてご紹介します。

第5回目は、鈴鹿市にある社会福祉法人朋友が運営する就労継続支援B型事業所「Cotti菜」さんにお話しを伺いました。

Q1 お店（法人）のこだわりは？

A1 障がいを持っていても好きな仕事に就けるように1次産業（農業）、2次産業（製造）、3次産業（販売）の三つの事業を行っています。この中で販売を担う「Cotti菜」はイタリア語で料理を意味する「Cotti」と自社農場である「わか菜の杜」で作った野菜から「菜」を表しています。また三重弁の「こっちへ来てな～」をかけた事業所です。

障がいを持っているから仕方ないではなく、製造分野で培った「一般企業に負けない」品質やサービス、商品を提供することを大事にしています。

Q2 スタッフの働き方は？

A2 障がいを持っていることで思うように出来なかったという経験をお持ちの方が多いので、はじめはパン作りからスタートしています。得意分野や利用者さんのやりたいことを聞きながら、「調理（弁当・パン）、ホール、配達」の4つの部門で活躍していただいております。部門それぞれ仕事内容や忙しさなど異なるので、利用者さんの考え（包丁を使用するのは苦手や総菜パンを作る仕事は得意など）を重要視しています。仕事の中で失敗することもあります。時間をかけて繰り返しチャレンジすることでできるようになります。積極的なチャレンジができる、悩み事の相談ができる、といった前向きな姿勢で取り組んでいます。



Q3 おすすめのメニュー

A3 女性のお客様も満足していただいておりますおまかせランチが当店の一番人気メニューです。主菜2品、副菜3品とたくさんのおかずが楽しめるランチです。またデザートやドリンクもセットになっています。おかずの中では揚げ物が皆さんに好まれています。とくにササミ梅しそフライやチキンカツが人気です。（揚げ物のメニューは日替わりとのこと。いただいた料理はタレカツでした。）お持ち帰り用のパンも販売しています。総菜パン、自家製のマイヤーレモンや野菜を使用したパウンドケーキも人気商品です。



おまかせランチ (800円)



デザート・ドリンクもセットのメニューです

Q4 今後の展望

A4 農福連携事業を大事にしています。食料自給率が低く、また農業従事者が激減する中で、農福連携が現状の改善に貢献できるのではないかと考えます。一人では就農継続が難しくなった地域の高齢農家さんと、福祉施設で働く障がい者が一緒になって、耕作放棄地で農業を継続すれば、地域に安心安全な食料を供給し続けることが出来るのではないかと思います。さらに、販売も一元化することによって、利用者さんには自分の好きな仕事・やりたい仕事で明るく元気に働いてもらえる環境づくりを目指していきたいです。

お
店
情
報

ナ
Cotti菜 (社会福祉法人朋友)

〒513-0804 三重県鈴鹿市三日市南 3-18-23 (駐車場あり)

TEL・FAX 059-389-7789

営業時間 10:00 ~ 16:30

定休日 土・日

Instagram



C.O.T.T.I.N.A



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン		
		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険)
ホームページ

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受専事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



ありがとうメッセージ

～ 心も一緒に届いています ～

社会福祉法人 東員町社会福祉協議会

令和5年度実施事業

地域で子育て応援事業

東員町社会福祉協議会では、地域を拠点に子育ての当事者と地域住民が多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間づくりを図るとともに、住民各層が地域で子育てを応援し、自身の生きがいづくりにつなげるための事業を実施しています。

令和5年度はイオンモール東員様のご協力を得て会場をお借りし、東員子育てネットと地域ボランティアの皆様とともに「のびのび遊び場 はじめの一步」という子育て応援イベントを開催しました。

開場すると親子連れの方がたくさん来場し、大型遊具で飛び跳ねたり、ビニール袋を使ったロケット作り、おままごと等を思い思いに楽しまれていました。

共同募金にご協力いただき、ありがとうございました。



社会福祉法人 度会町社会福祉協議会

令和5年度実施事業

世代間交流会

度会町社会福祉協議会では、児童・保護者・高齢者の三世代が旧小学校単位で集い、地域が一体となり楽しめる交流会事業を実施しています。世代を越えて交流することで、地域内でのつながりを深め、楽しいひとときを過ごしていただく事を目的としています。

令和5年度は、児童・保護者・高齢者の三世代の皆さまに参加していただき、ミニ運動会で玉入れ等をしたり、カローリングを行いました。参加された方々から「地域の子どもたちの顔が見ることができてよかった。いい汗をかきました。」と感想をいただきました。

共同募金にご協力いただき、ありがとうございました。



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL : 059-227-5145 FAX : 059-227-6618

URL : <https://www.miewel-1.com/> E-mail : info@miewel.or.jp

編集協力 株式会社アイリック

2025年7月号(通巻406号) 令和7年7月発行

「福祉みえ」は三重県社協のホームページでもご覧になれます。また、広報に関するご意見・ご感想は、E-mailにて受け付けております。